

令和5年5月8日 【助詞 2】

みなさん、おはようございます。校長先生の言葉は皆さんの心に届いていますか。

さて、先週のおはなし覚えていますか？ 日本語は1文字変わると大きく意味が変わることがあります。だから、1文字1文字丁寧に音読しましょう。というお話でしたね。そのせいか、先週は丁寧に音読するおともだちが、とても増えました。

写真は、丁寧に読むために、指でなぞっています。この読み方は本当に丁寧に読めるので、おすすめです！ちなみに、左の写真が、幼稚園の子ども。右はアメリカの子どもです。海外でも指のなぞり読みは人気があります。

さてお題ですが、1問目は夕方仕事から家に帰ってきたおうちの人に

- ① 宿題をしているよ。
- ② 宿題はしてあるよ。

ほめられやすいのはどっち？でした。みなさんの回答は少し②が多いようですが、しゅでに宿題が終わっているのはどっちでしょうか？

そう②ですね。だから、お家のひとにほめられることが多いかと思いません。

もう1問なんと、むこうから

- ③ とても大きい犬がやってきました。
- ④ とても大きな犬がやってきました。

みなさんは、どっちの犬の方が大きく感じますか。でした。

これは②の人が多かったのですが、実は、この2つの言葉で表す大きさはくらべることが難しいのです。

ヒントの歌を出します。

♪大きなのっぽの古時計

のように、目の前にないけど「大きい」ことをいいたいとき「大きな」を使います。ほかに「大きな」を使った歌はどんなものがあるでしょう？

♪大きな栗の木の下で

見たこともない「栗の木」だから「大きな」を使います。他に「大きな」を使った文章はないかな？

「むかしむかし、あるところにおじいさんと、おばあさんが住んでいました。～大きな桃が流れてきました」

これも、同じ理由で「大きい桃」とは言いません。

逆にこのように、皆さんの目の前に置いてある大きなお菓子の箱を見て、「大きい」と言いますよね。

大きい＝実際に大きい

大きな＝空想、抽象的な大きい

たとえば、「僕は大きいドラゴンを見た！」どんな状況だと思いますか？周りの人と聞き合ってみてください。

では、これを本日のお題とします。

わかったよという人は、校長室前のボードに書きにきてください。

今日も最後まで聞いていただき、ありがとうございます。